

西広島バイパス都心部延伸事業の 早期再開に関する要望

2017年11月

広島商工会議所

要 望

一般国道 2 号のバイパスとして、昭和 49 年に供用開始された広島市と廿日市市を結ぶ主要幹線道路である西広島バイパスは、広島広域都市圏西部地域と広島市を有機的に連絡することによって地域の開発と経済の発展に大きく寄与する重要な道路であるとともに、広島都市圏の中心部に集中する交通を円滑に処理する自動車専用道路網の一部を形成する路線でもある。

しかしながら、沿線の都市化や交通需要の増大に伴う著しい渋滞が深刻な社会問題となり、その早期解決が大きな課題となっていた。

このため、西広島バイパスの高架の建設については、平成 6 年 8 月に広島市西区庚午北二丁目から広島市都心部にかけての高架延伸計画が都市計画決定され、平成 15 年 10 月に西区庚午北二丁目から中区舟入中町までの区間の高架道路が供用開始されるとともに、廿日市市平良地区から宮内地区までの区間においても、平成 9 年 5 月に高架形式の自動車専用道路部が都市計画決定され、平成 24 年 3 月から供用開始されるなど、着実な進展をみていることは非常な喜びであり、心より感謝申しあげる。

このような中、残る西広島バイパス高架事業（都心部延伸）は、従来の課題である交通渋滞への対応ということにとどまらず、沿道環境の改善にも資する事業であり、さらには、搬送時間の短縮による物流の効率化や、第三次医療施設への円滑な救急搬送にも寄与することが期待され、また、西広島バイパス全線の完成という地元の熱い要望を達成するための、極めて重要な事業となっている。

地元経済界と関係自治体が総力を結集し、強固な連携のもと事業が円滑に進むよう取り組むので、西広島バイパス高架事業（都心部延伸）について、早期に再開していただくよう、お願いしたい。

西広島バイパス

